

新型コロナに負けず，水稲の作付進む

全国的に猛威を振るっている新型コロナウイルス。国全体で不要・不急の外出自粛を要請する取組が行われている状況下，田植えの時期を迎える水稲農家にとっては，作付の準備作業で皆大忙しだ。



4月中旬から山元町内の農家は，体調管理に注意したり，3密を避ける作業の工夫を行うなど，対策を取りながら種まきを行い，育苗管理に努めてきた。そして立派な苗を育て上げ，無事に田植えを行い，今年も例年と変わらない青々とした田園風景を作り出した。

新型コロナによる影響について，稲作農家の方は，「農業資材の納入に遅れ等が多少あったが，田植作業までは大きな影響はなかったので，今年も消費者の皆さんにおいしい米をたくさん届けられるよう頑張っていく。外出自粛の影響からか，飲食店などへ直接販売している分は減少しているが，一般家庭用の販売が増えたことから米の消費は増えているようだ」と語る。

全国的に大変な経済状況の中，我国の主食を支えるため植えられた苗。これから収穫までの長い期間，病気にかからず，自然災害などに合わずに元気に成長し，豊作の秋を迎えることを願うばかりである。